



NEWS 2008年 9月号 Vol. 52

仙台医療センター

National Hospital Organization Sendai Medical Center



第16回院内七夕飾りコンテストにて
見事最優秀賞に輝いた母子医療センターの皆さんです。

(関連記事P 6)

仙台医療センターの基本理念

わたくしたちは、
人権と生命の尊厳を限りなく大切に
患者中心の医療を目指しております

- 【基本方針】
1. 一人ひとりを大切にする全人的な癒しの医療
 2. 安全で信頼される高度総合医療の提供
 3. 地域医療への貢献と国際レベルでの医療協力
 4. 地域に開かれた病院
 5. 健全な経営

目次

- みんなで広げよう「ジョイントケア・ネット宮城」の輪／接遇とは、「心からのおもてなしである」 2
- 第7回 みちのくウイルス塾／がん専門薬剤師研修 3
- NEWS 東西南北 4
- 地域医療連携室だより／患者様ご意見箱から 5
- 第16回院内七夕まつり 6
- 子供達の成長と笑顔／臨床研修日記／人事異動／行事予定 7
- 外来診療担当医表 8



みんなで広げよう 「ジョイントケア・ネット宮城」の輪

— 大腿骨頸部骨折 地域医療連携パスの会 —

治療戦略

21世紀の医療は地域連携パスによって、大きく変わるかもしれません。それまで病院毎に個別に整備していたクリティカルパスが、病院の垣根を越え共通の治療戦略として、また様々な情報を医療施設間で共有できるコミュニケーションツールとして進化したからです。

大所帯

昨年10月に当センター主催で「地域連携パスを推進する会」が開催されましたが、それを契機に大腿骨頸部骨折のネットワークが発足しました。ネーミングは大腿骨頸部骨折が股関節の骨折なので、関節を表すジョイントという言葉に、医療機関相互や介護福祉施設との連携を深めたいとの思いも込めて、「ジョイントケア・ネット宮城」に決まりました。

発足当時は13病院の集まりでしたが、いまや仙台市医療圏の18施設が加盟する全国的にも類を見ない大所帯となり、参加するメンバーも医師、看護師をはじめ、リハビリスタッフや事務職など多彩な職種の方がメンバーとなって会を支えてくれています。

横の繋がり

このネットワークをきっかけに、今までにはみられなかった医療施設間の横の繋がりが、徐々に深まってゆくのを感じています。今後は脳卒中地域連携グループともできるだけ歩調を合わせながら、連携医療の輪を少しずつ広げてゆければ、と考えています。

最後に、いつも多大なるご協力を頂いている地域連携室の皆さんをはじめ、関係者の方々に深く感謝致します。

これからもご支援を宜しくお願いします。

(ジョイントケア世話人会代表

整形外科医師 吉田 秀一)

地域医療連携とは？

仙台地区では、大腿骨頸部骨折の一連の治療を、様々な病院間で役割分担する事業に取り組んでいます。

大腿骨頸部骨折の場合、全身状態に問題がなければ、手術治療を行います。しかし、社会復帰やご自宅へ戻られるためには、歩行訓練などのリハビリがとても重要となります。術後早期に専門的なリハビリ病院に転院することで、より早く、より高い機能回復が見込める事が、これまでに数多く報告されています。

手術を行う病院（連携元）と、リハビリ病院（連携先）は様々な情報のやりとりをしながら、共通の治療体系（クリティカルパス）で治療を行っています。それが地域医療連携です。

患者様のメリットとして、

- ①骨折の受傷から退院までの期間、回復の度合いに応じた適切な医療が、安心して受けられる
- ②地域で統一した治療体系なので、どの病院でも同じように質の高い医療がうけられる
- ③アフターケアとして、かかりつけの医療機関と提携できるなどの点があげられます。

なお、連携先病院に転院した後、不測の事態が生じた場合などは、連携元病院に戻って治療をして頂く事もあります。

接遇とは、「心からのおもてなしである」

心かけ

5月23日からの3日間、接遇研修に参加しました。接遇とは、自分が考えていた以上に奥深く、研修はとても興味のあるものでした。

接遇とは、「心からのおもてなしである」ということ。もてなすことの中には、身だしなみや言葉遣いだけではなく、タッチング・笑顔・優しい言葉遣いが含まれているということを学びました。

優しい言葉遣いの中に、褒める声かけ・認める言葉（挨拶）・関心を示す言葉・態度（苗字で呼ぶ、会釈）などを心がけるだけで相手がうける感じは、随分変わって

接遇インストラクター養成研修を受講



くると思います。また、研修では医療現場・療養生活における実際の事例を基にロールプレイも行いました。その中では患者役を演じることによって、普段自分がどのような行動をとっているかを振り返ることができ、改めなければいけないと思いついた節がいくつもありました。

今回の研修に参加して得たものを自分自身で、また病棟で活かし、患者様に良い気持ちで療養生活を送っていただけるように努力していきたいと思っています。

(小児病棟看護師 小野寺 志)



第7回 みちのくウイルス塾

— 素人にもわかる講演 —

面白い話

この7月19、20日の2日間にわたって、今年も当院大会議室を会場に夏の学校『みちのくウイルス塾』が開かれました。これは、もともとは、日本や世界をリードする若手研究者が学生や医療関係者を対象に、「ウイルスの面白い話をできるだけわかりやすく聞かせ」ウイルス学に興味を持ってもらおうと、当院の協力の下、日本ウイルス学会将来構想委員会が始めた会ですが、その後当院の地域研修センターの講演会を兼ねて開催しているもので、毎回大好評の会です。今年は当院和田副院長の挨拶を皮切りに、日本のウイルス学を引っ張る9人もの講師にそれぞれの得意分野で、「素人にもわかる講演」をお願いしました。

クイズ形式

今回は、仙台市はもとより、東北一円、関東、北陸から、これまで最高の延べ約200名もの参加があり大盛況でした。当院の登録医の先生方も数多く見うけられ、若い人たちと一緒に勉強されていた姿が印象的でした。ふつうの講演会とは雰囲気が大きく異なり、会場からも活発に質問がなされ、講師の先生方もそれらに丁寧に答えてくれ、時間を忘れるほどでした。また、昨年からはじめた、最後に講義をもとにしたクイズ形式の小テストも、大好評でした。非常に内容の濃い、まさに『塾』の名に恥じない会となったと思います。

ホームページに掲載

身近にこれだけの素晴らしい講師が集まる非常に貴重



な機会です。たとえば、今回でいえば、大分大学の西園教授（彼はなんと当院で産声をあげたそうです）が、見せてくれた狂犬病のイヌとアフリカでの実際の患者さんの様子の学術ビデオなどは、非常にインパクトが強かったのですが、こうしたものは他では決して見ることのできないものです。次回も今回に劣らない企画を考えたいと思います。せっかくの機会です。当院の職員もぜひ時間を作って来て見てください。なお、院長の発案で昨年からは、会の様子や講義内容をわかりやすく解説した聴講録をウイルスセンターのホームページ上に掲載することにしておりますので、みなさま、こちらの方もどうかよろしくお願いいたします。

（病因研究室長・ウイルスセンター長 西村 秀一）

がん専門薬剤師研修 —がん専門薬剤師を養成—

がん診療連携拠点病院▶▶▶

当院は、平成18年11月に、厚生労働省の委託事業として、(社)日本病院薬剤師会が運営する「がん専門薬剤師研修事業」の研修施設として認定されました。東北では現在、当院の他に東北大学病院、弘前大附属病院、岩手県立中央病院、岩手医科大附属病院、山形大附属病院が「がん専門薬剤師研修施設」として認定されており、その役割は、がん薬物療法に必要な高度の知識、技能、臨床経験を修得させることにより、がん診療連携拠点病院等におけるがん専門薬剤師を養成し、がん医療水準の均てん化を推進することを目的としています。



がん専門薬剤師・講義研修

3ヶ月間の研修▶▶▶

研修は、1期につき3ヶ月間行います。内容は、講義研修として、当院の医師、看護師、栄養師等による院内講義を26コマ、及び実務研修として、緩和医療、外来がん化学療法、関連部署の見学、注射用抗がん剤のミキシング業務、がん患者さんに対する薬剤管理指導業務、調剤業務、医薬品管理業務、TDM業務、治験業務、及び他のがん診療連携拠点病院等の見学を行っています。また、講義研修の受講は研修生だけでなく、院内の職員や、近隣の医療機関、保険薬局の薬剤師にも聴講案内を配布しておりますので興味のある方はぜひ聴講してください。

（副薬剤科長 後藤 達也）

NEWS 東 西 南 北

先輩が一生懸命教えてくれる

北海道東北ブロック就職ガイダンス

6月29日に行われた「北海道東北ブロック就職ガイダンス」に参加してきました。2年前の私はガイダンスを受ける側でしたが、今回は仙台医療センターを説明する立場でした。あの頃の私は面接を受けているというわけでもないのに、コチコチに緊張していたのを覚えています。そんな経験がありますから説明を受ける皆さんがリラックスして聞けるようにこちらも気を楽にして新人研修の説明をしました。研修風景を紹介するときは私の新人の頃の感想、心情を盛り込みました。とくに伝えたかったのは、「採血や点滴などの看護技術は先輩が一生懸命教えてくれるし、経験を重ねるごとに必ず上達する」ということでした。説明会を終え、ガイダンスを受けた皆さんにとって当院が「働きたい」と思う、選ばれる病院の1つでありますように…と思いました。

(母子医療センター 伊藤やよい)



手術と同じ緊張感を体験

サージカルラボ研修

サージカルラボという名称で外科的な基本手技を習得する実習を開催して頂きました。初めに模型を使って結紮、縫合手技を練習しました。結紮一つにしても微妙な力の入れ具合で、結び目がずれてしまったりと大変苦労しました。また結紮の種類にもそれぞれ意図があり、手だけではなく頭も使いながら手技を行わなければならないと実感しました。

2回目のサージカルラボでは、豚肉と豚足を用いてより実践的な縫合実習をさせて頂きました。模型を縫合するのとは違い、針の刺入や結紮をするにしても生体の重みを感じることができ、実際のも実感することができました。

こうした外科基本手技は外科医を目指す研修医は勿論のこと、全科を通じ必須の技術であります。練習を積み重ね、我が物としていきたいと思っております。最後にお忙しい中、指導して下さいました先生方には心より感謝しております。ありがとうございました。

(臨床研修医 小野寺基之)



リアルで、より現場に近いトレーニング

高機能患者シミュレーションデモ

大会議室での医師研修用高性能シミュレーターのデモを実施し、操作方法など各社から説明していただきました。シミュレーターは「ECS高機能シミュレーター成人用、乳児用」「シムマンKフルセット」「腹腔鏡下トレーニングシミュレーター」などでした。

高機能シミュレーターは、患者さんの状態や疾患・病態の観察、確認、聞き取りなどの情報が臨床における観察・診断・処置のリサイクルを適切に再現し、より安全でより効果的な医療のため、よりリアルでより現場に近いトレーニングが可能となっている。



医学の進歩を後押し

治験終了感謝状贈呈式

治験終了感謝状贈呈式が、7月22日(火)に行われ、今回は17名の患者さんが出席し、菊地 秀院長から「感謝状」が贈られました。その後懇談会が行われ治験での苦労話や現在の病気など患者さんから生の声を伺いました。

医学は日々進歩していますが、未だに治療薬が見つからない病気があります。治験は医薬品の開発に不可欠なものであり患者さんの理解と協力が必要です。治験に協力して頂いた患者さんの善意に心から感謝いたします。



心を癒す作品

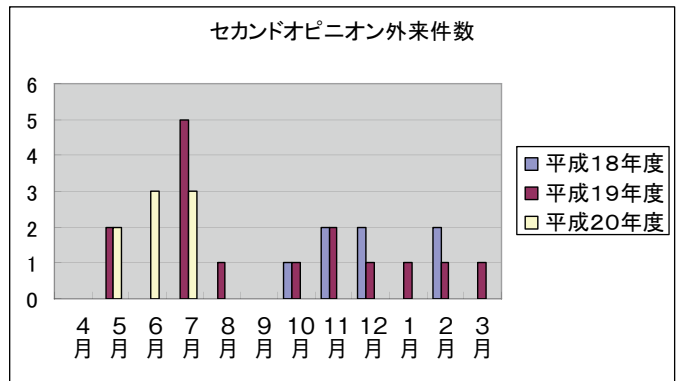
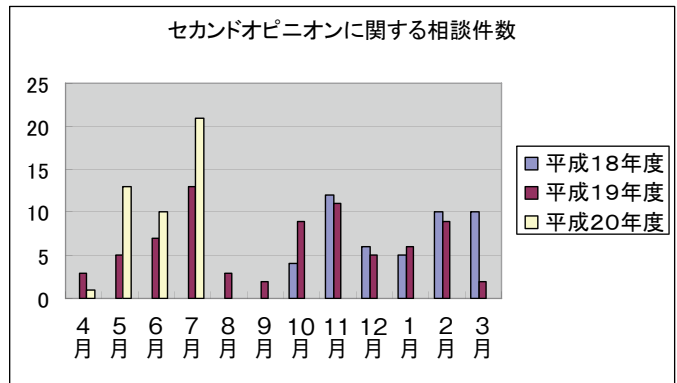
アートセラピー展

東京の画家Chie(チエ)さんの作品が当院の正面玄関ホールや外来、放射線科などに7月4日(金)～9月12日(金)まで展示中です。Chieさんの作品は「癒しの絵画」として注目されていて、医療機関ではアートセラピー(芸術療法)として利用されています。





地域医療連携室では2006年10月からセカンドオピニオン外来の受付を行っています。今回はこれまでのセカンドオピニオンのに関する相談件数と外来件数について報告をしたいと思います。相談件数はグラフの示すとおり、年々増加して来ています。外来件数は開設後合計30件となりました。相談を受ける内容から、利用者の方々に少しずつですがインターネット等での知識が広がっていると考えます。そのニーズに応えられるようにしていきたいと思えます。（地域医療連携係長 越田 ひろ子）



地域医療研修センター講演会のご案内

演題：「多発性骨転移に対するストロンチウム89の治療」
 日時：平成20年9月17日(水) 18：00～
 講師：仙台厚生病院 放射線科 主任部長
 先端画像医学センター 部長 山口慶一郎 先生

患者様ご意見箱から

当院をご利用いただいている患者様の声を病院運営に活用して行くためのコーナーです。

掲示板

ご意見・ご要望

いつもこの掲示板に目をやります。何故か苦情ばかりがあがっていますね。
 もっと心を広く感謝を持ってみてあげられないでしょうか。コーヒーの出し方が遅いとか、コーヒーの匂いがイヤとか、こんな些細な事でこの掲示板を使わないで下さい。
 もっと良い事に目を向けましょうよ。
 コーヒーの匂いで癒される人もいます。

病院長からの回答

貴重なご意見を頂き感謝申し上げます。
 ご意見・ご要望には色々な意見が寄せられますが、いずれも私達病院職員が気づかない貴重なご意見であり、病院の「宝物」と考えております。
 今後も寄せられたご意見については一つ一つ丁寧にこの掲示板で回答していきたいと考えております。
 今後とも忌憚のないご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

鉢花

ご意見・ご要望

1階の廊下にある鉢花を見ましたが、どの鉢植えもみな用土が足りなくて、土を入れないと根ばかり張って、固くて、根詰まりばかりで、花や木の鉢植えが育たないようです。
 植え替えをした方が良いでしょう。

病院長からの回答

1階の廊下の窓際にある鉢植えの土の入れ替えについてのご意見ですが、患者さん等からいただいた鉢植えを置いておりますが、水やり等の管理は職員のボランティアで行っております。
 先般、あるボランティアの方から土の入れ替え等のお世話をしたいと申し出があり、その方々に土の入れ替えをしていただきました。
 病院としましては、鉢植えがいつもきれいな状態で鑑賞していただけるよう心掛けて参ります。



第16回院内七夕まつり

母子医療センター初の最優秀賞に輝く

今年も毎年恒例の院内七夕飾りコンテストが行われた。正面玄関ホールや各病棟にそれぞれ趣向を凝らした七夕が飾られ、院内は七夕ムード一色。コンテストは、母子医療センターが総合得点60点満点の内53点を獲得して、初の「最優秀賞」に輝いた。50点代は母子センターのみで、他の病棟等を大きく引き離しての授賞となった。優秀賞には、南5階病棟が輝いた。



最優秀賞 母子医療センター



最優秀賞 母子医療センター



最優秀賞 母子医療センター



優秀賞・アイデア賞 南5階病棟



敢闘賞 西6階病棟



敢闘賞 小児病棟



院長賞 東5階病棟 病棟



副院長賞 西3階病棟



副院長賞・アイデア賞 救急外来

子供達の成長と笑顔

～ひまわり保育園夏まつり～



やっぴよかった!

8月1日の夕方、心配されていた雨も降ることなくひまわり保育園の夏祭りが開催されました。子供達が数か月にわたって創作したドラえもんのお神輿、ドラミちゃんのお神輿で元気よくスタートしました。それに引き続き、ドラえもん音頭を元気よく熱演し、年々上手に踊れるようになる我が子の成長にも感動しました。

今年は園児数が大幅に増えたため、くじ引きやゲーム、かき氷の出店など様々な準備に早くから取り掛かりました。準備の段階から、子供達のために保育士と父母がともに協力しあって楽しみながら実行できたと思います。保育士さんで企画した「おばけ屋敷」も本格的な仕上がりで泣いて怖いながらも楽しく、何度も通う子供達もいたようです。

待ちに待った夏祭りを親子で一緒に楽しみました。毎年子供達の成長と喜ぶ顔を見て、今年もやっぴよかったと実感できた日となりました。(鎌田 朋美)

臨床研修医日記

No.38



臨床研修医 一年目

乾 稚 宏

来て良かった

医師として社会人として新たな一步を踏み出してから早くも4ヶ月が過ぎました。今まで総合診療科、呼吸器内科、神経内科で研修させていただき、現在は外科研修中ですが、どの科の先生方、医療スタッフにも熱心に御指導いただき、この病院で研修できてよかったと心から思っています。

私は四国の徳島県出身で、この春から縁もゆかりも無い仙台の地へ単身引越してきました。四国に比べると仙台は夏でも涼しく、随分北の方に来たものだと痛感しています。

話は変わりますが、仙台医療センターにて四国人会(現在2名)など開催できればと計画中です。四国に縁やゆかりのある方は是非乾まで連絡して下さい。

研修も頑張りますのでよろしくお願い致します。

人事異動

8月31日付

辞 職 看 護 師 櫻 井 和 枝 (西2階病棟)

〃 業 務 技 術 員 須 藤 陸 郎 (庶務係)

9月1日付

採 用 看護師(非常勤) 畠 山 美 姫 (外来)

〃 業 務 技 術 員 宮 腰 寛 (庶務係)

勤務配置換 副看護師長 鈴 木 まゆみ (治験管理室→東3階病棟)

〃 看 護 師 富 吉 彩 子 (手術室→西2階病棟)

〃 看 護 師 江 渡 しのぶ (西6階病棟→治験管理室)

9月の主な行事

3 (水)	施設基準等の実施状況調査
	院長院内巡視
9 (火)	クリティカルパス発表会 初期消火技術研修
11 (木)	管理診療会議
12 (金)	コーチング研修
17 (水)	地域医療研修センター講演会
29 (金)	火災訓練(看護学校)

◆平成20年8月 一日平均患者数

区 分	入 院	外 来
当 月	実績数 543.4	881.4
	(前年同月) 570.7	876.5
増減数	17.6	▲32.3
累 計	年間計画数 600.0	934.1
	実績数 579.8	925.8
増減数	▲11.0	2.7

NEWS 仙台医療センター

2008年9月号
Vol.52

- ◆発 行 / 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
- ◆発行責任者 / 副院長 和田 裕 一
- ◎〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2-8-8
- ◎電話 : 022-293-1111 ◎FAX : 022-291-8114
- ◎URL : <http://www.snh.go.jp>

編集後記

最近では障がい者スポーツからアダプテッド・スポーツに呼び名が変わってきている、という雑誌記事を読みました。障がいのある場合には用具やルールを各人にあわせて、障がいのある人もない人も一緒に楽しめる共生スポーツ、という意味のようです。前向きで気持ちの良いアイデアだと思います。“アダプテッド・オキュベーション(職業)”という言葉はありませんが、同じようにできれば素晴らしい、と思っています。(Y・H)



外来診療担当医表

管理者：菊地 秀 平成20年9月1日現在

受付時間…… 8時00分から11時まで
 (新患は10時30分、放射線科新患は10時迄)
 診療時間…… 8時30分から17時15分まで
 (都合により開始時間が遅れることがあります。)
 ※土・日曜・祝日は休診

診療科	曜	日	月	火	水	木	金	備 考
総合診療科	新患		山下 りか	片倉 道夫	海瀬 和郎	本藏 賢治/山下 りか	高橋 通規	
	再来		海瀬 和郎	高橋 通規	清野 仁	海瀬 和郎	大学医師(交代制)	
血液内科	新患		—	目黒 邦昭	阿部 正理	猪股美津恵	伊藤 俊広	
	再来		—	猪股美津恵	伊藤 俊広	目黒 邦昭	阿部 正理	
内科	⑤		伊藤 俊広	—	—	佐藤 功	—	特殊外来
腫瘍内科			鈴木 貴夫	鈴木 貴夫	鈴木 貴夫	鈴木 貴夫	鈴木 貴夫	新患は午後に予約してください。火・金曜日は午前のみ
精神科	新患		菊池 孝	—	—	—	笹尾 純	原則院内紹介のみ
	再来		—	笹尾 純	菊池 孝	木下 恭子	—	木曜日の担当は、5/8~
	小児センター		—	—	—	—	—	当面休止します。
神経内科	新患		鈴木 靖士/成川 孝一	—	鈴木 靖士	—	成川 孝一	
	再来		突田 健一	—	成川 孝一	—	鈴木 靖士	
呼吸器科	新患		泉山 典子/西巻 雄司	菊地 正	—	笹森 寛	斎藤 若菜	
	再来		三木 祐	菊池 喜博	菊地 正	三木 祐	菊池 喜博	水曜日の再来は予約制
海外旅行外来			—	—	三木 祐/斎藤 若菜	—	—	水曜日午後 海外旅行外来 2時から4時まで
消化器科	新患		高橋 広喜/阿子島裕倫/菅原かおり	岩淵 正広/木村 憲治/塩塚かおり	真野 浩/野口 謙治/山尾 陽子	千田 信之/田邊 暢一/杉村美華子	田所 慶一/泡調 賢立之 英明/高橋 亮一	○/○ 隔週交替
	消化器①		野口 謙治	田邊 暢一	千田 信之	木村 憲治	高橋 広喜	
	消化器②		岩淵 正広	田所 慶一	杉村美華子	真野 浩	阿子島裕倫	
循環器科	新患		富岡 智子	篠崎 毅	富岡 智子	篠崎 毅	篠崎 毅	月曜は尾上・田中隔週交替
	再来		篠崎 毅	—	田中 光昭	—	—	紹介及び救急患者以外は予約制
小児科	午前		貴田岡節子	田澤 雄作	貴田岡節子	田澤 雄作	貴田岡節子	
			田澤 雄作	箕浦 貴則/柏原 彩羅	田澤 雄作	箕浦 貴則/柏原 彩羅	田澤 雄作	
	午後 特殊外来		心の外来(田澤) 慢性疾患外来(貴田岡)	予防接種 専門外来/消化器外来	心の外来 慢性疾患外来/専門外来	1ヶ月検診	心の外来 専門外来	午後の診療は全て予約制です。
外科	外科	新患	武田 和憲	齋藤 俊博	菊地 秀/齋藤 俊博	武田 和憲	菊地 秀	水曜新患は第1・3・5菊地、第2・4齋藤
		再来	大塩 博	岩本 一重/成島 陽一	手島 伸/原田 昭彦	—	高村 弘宗/児玉 英謙(湯目 支)	
	乳腺 外来	午前	渡邊 隆紀	渡邊 隆紀	—	渡邊 隆紀	—	
		午後	渡邊 隆紀/志賀千鶴子	志賀千鶴子	—	渡邊 隆紀/志賀千鶴子	—	
整形外科			伊勢福修司	小野田祥人	伊勢福修司	小川 真司	伊勢福修司	
			吉田 秀一	小川 真司	吉田 秀一	小野田祥人	上村 雅之	脊椎外科(火・木)、水曜日月2回乳児股関節あり
			(交替)	(交替)	(交替)	(交替)	(交替)	
			—	—	—	—	装具	
形成外科			藤山 幸治	—	堀内 直美	—	藤山 幸治	
脳神経外科	新患		上之原広司	上之原広司	西野 晶子	西野 晶子/鈴木 晋介	江面 正幸	木曜(午前中)前半西野・後半鈴木(晋)が診察
	再来		鈴木 晋介	上之原広司	櫻井 芳明	西野 晶子/鈴木 晋介	—	火曜 鈴木 脊椎脊髄外来
呼吸器外科			齋藤 泰紀/大石 久	—	野津田泰嗣	—	齋藤 泰紀/羽間 透 野津田泰嗣/大石 久	金曜日は新患のみ
心臓血管外科	新患		—	櫻井 雅浩	—	櫻井 雅浩	—	
	再来		—	吉岡 一郎	—	櫻井 雅浩	—	
小児外科			吉田 茂彦	—	吉田 茂彦	—	吉田 茂彦	
皮膚科	外来		岡田美喜子	飯澤 理	—	黒澤 昌啓	飯澤 理	
	病棟		飯澤 理/黒澤 昌啓	黒澤 昌啓	—	飯澤 理/岡田美喜子	岡田美喜子/黒澤 昌啓	
泌尿器科			武弓 俊一	吉川 和行/阿部 優子	—	吉川 和行/神山 佳展	吉川 和行/阿部 優子	
産科			千葉由美代/明城 光三	千葉由美代	明城 光三/千葉由美代	明城 光三/千葉由美代	千葉由美代	
婦人科	新患		明城 光三	早坂 篤	和田 裕一	高橋 克幸	大井 嗣和/遠藤 敏	金曜日新患は第1・3・4・5大井、第2遠藤
	再来		鳥 崇他	朝野 晃他	—	早坂 篤他	太田 他	再来は複数医師による交替制「院内往診は火・木のみ」
眼科	午前		野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	野呂 充/太田有夕美	野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	○/○ 隔週交替 水曜日院内紹介は受付しません(Dr. 2名のため)
	午後		野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	—	太田有夕美	—	野呂 充/太田有夕美 目黒 泰彦	月・金の午後は完全予約制
耳鼻咽喉科			橋本 省 渡邊 健一/高橋 薫	交替制(新患のみ)	橋本 省 嵯峨井 俊/高橋 薫	渡邊 健一 嵯峨井 俊/八幡 湖	担当交替制	再来は完全予約制
放射線科(治療)	新患		菅原 俊幸	—	菅原 俊幸	—	—	月・水曜日新患の受付は10時迄
	再来		菅原 俊幸	—	菅原 俊幸	菅原 俊幸	—	木曜日の再来は放射線治療中の方のみ
(診断)	再来		栗原 紀子	佐藤 明弘	栗原 紀子	佐藤 明弘	佐藤 明弘	血管撮影・IVR 依頼は力丸
歯科・口腔外科	新患		玉木 祐介/仁木 孝行	玉木 祐介/仁木 孝行	山口 泰	交替制	山口 泰	
	再来		山口 泰	山口 泰	玉木 祐介/仁木 孝行	—	玉木 祐介	再来は予約制